

1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2021年7月19日(月) No.16



識字について شبكة (アラビア語で 識字について と読む)

70期生のみなさんは、中学校に通い、学習をしています。学習をすすめるためには、たくさんの文字や数字を読み、文として理解することを求められます。

さて、世界中で中学生ぐらいの年齢の人たち全員が、学校に通っているのでしょうか？ 現在、SDGsにも掲げているように、『4質の高い教育をみんなに』について、まだ達成できてない世界なのです。授業では、映像『ミナ笑顔』を見て、文字を認識し、文を読み取り理解することの大切さを学び、感想を書きました。

<感想より> 識字学習で初めて知ったことは何か。

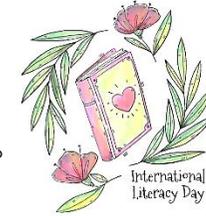
- 『識字』の言葉の意味を知った。
- 字が書けなかったり読めなかったりすると生活に支障が出ることを知った。
- あたりまえに書いたり読んだりしているけれど、この世界には、それができない人がたくさんいることを知った。
- 文字の読み書きができることは生きていく中で大切なことだとあらためて知った。
- 『識字』という言葉をはじめて知った。
- 私たちが学校に行けているのがあたりまえではないことを知った。
- コミュニケーションをとるのが思ったより外国とか行くと、むずかしい。
- 学校に行けていない人が多いことがわかった。
- この世界には、学校に通えず、字も書けない人がいることを知った。夜間中学校は、いい学校だなあと思った。
- 自分は字が書けてあたりまえだと思ったけれど、差別や学校で学べない人もいるんだなと思った。あたりまえではなかった。



- 日本でも字が読めない人がいることに驚いた。
- 字を知らないことで農薬と薬を間違え、命にかかわることも起きてしまうのが、とてもびっくりした。
- 学校に行けるのはあたりまえではない。

<感想より> あなたにとって『学ぶ』とはどういうことか。

- 言葉はだいじだなあと思った。
- 勉強する。
- 学ぶことは、損はない、身につくこと。
- 知識を得ること。
- 生きるために必要なこと。
- 自分の未来のため。人のため。
- 世界を広げるということ。
- これまで生きてきた人が学んできたことを私たちが受け継ぐこと。
- 毎日、学校で学んで活用して、学ぶことは大切だと思った。
- いろんなところ、色んな人からたくさんのことを学ぶこと。
- 学ぶことは、これからの人生のなかでも大切なことだと思った。
- いろいろな人とお互いに助け合って、なかまと一緒にすすむことができるということ。
- 生きていくために努力をして、世の中のことや今の現状を知ること。
- 学ぶことは、当たり前なことだと思っていたが、とても大切だと思った。
- 知らないことを知る。



『識字』を学んで、『今、私が大切にしたい言葉』を

それぞれ短冊に書きました

韓国語で **식자**

『しきじ』と読みます。

インドネシア語で **Literasi**

★毎年9月8日は、『国際識字デー』

識字の大切さを世界に示す日です。

英語で **Literacy**

